

子どもに金銭の使い方を教え学ばせるためには、自分のこづかいを計画的に使わせるのがいちばん効果的であろう。「ものをたいせつにしない」とただ単に口でいうよりも、実践的に身をもって学ばせることが重要である。

都市部の子は、節約しためようとする意欲が強く、その機会も多いと思われる。

節約ムードは、程度の差があるが、低年齢ほどうまくためようとする態度がでている。

子どもへの小使いの与えかたときめかたは、お手伝いによる貸金形式か、月か週ぎめの与えかたがよいのか、また、その他子どもの夢が育つような与え方がよいのかどうか、もう一度検討してみる必要がある。

16. せんとくは、どの程度できるだろうか。

表26.

(単位%)

| 項目 | 学年 | | 小. 5 | | 小. 6 | | 小. 計 | | 中. 2 | | | | 中. 計 | | | |
|-------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 性 | 地域 | 男 | | 女 | | 男 | 女 | 男 | | 女 | | 男 | 女 | | |
| | | | 都市 | 農村 | 都市 | 農村 | | | 都市 | 農村 | 都市 | 農村 | | | | |
| | | | 都市 | 農村 | 都市 | 農村 | | | 都市 | 農村 | 都市 | 農村 | | | | |
| 1. じょうずにできる | 36.4 | 11.4 | 50.9 | 46.2 | 19.5 | 17.1 | 46.7 | 38.2 | 20.1 | 45.1 | 26.0 | 31.6 | 69.8 | 62.5 | 28.8 | 66.0 |
| 2. ときどきできる | 21.8 | 35.7 | 35.1 | 26.2 | 24.7 | 30.3 | 25.3 | 42.1 | 28.4 | 32.2 | 18.2 | 17.1 | 14.5 | 11.3 | 17.1 | 12.8 |
| 3. ふつうにする | 14.5 | 27.1 | 12.3 | 21.5 | 45.4 | 36.8 | 26.7 | 19.7 | 32.4 | 20.5 | 24.7 | 47.4 | 11.8 | 26.2 | 35.9 | 19.3 |
| 4. よくてできない | 16.4 | 18.6 | 1.7 | 4.6 | 5.2 | 6.6 | 1.3 | 0 | 11.2 | 1.8 | 20.8 | 3.9 | 1.3 | 0 | 12.5 | 0.6 |
| 5. ぜんぜんできない | 10.9 | 7.2 | 0 | 1.5 | 5.2 | 9.2 | 0 | 0 | 7.9 | 0.4 | 10.3 | 0 | 2.6 | 0 | 5.2 | 1.3 |

せんとくは何年ごろできたか

図.37 男子

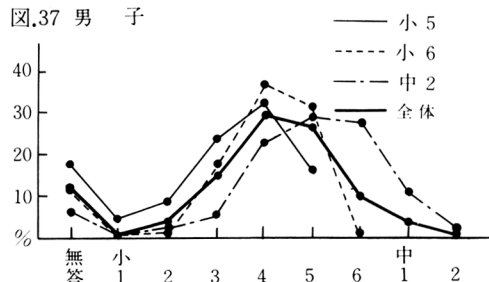
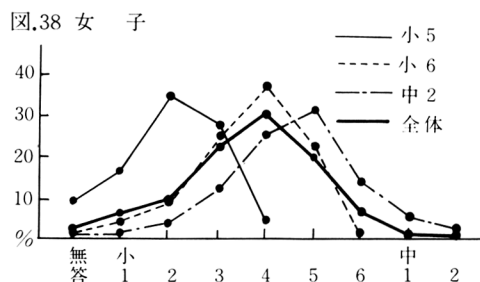


図.38 女子



洗たくは、大部分の家庭が、洗たく機を使用しているので、ここでは、くつ下、ハンカチの洗たくができるかどうか聞いてみた。男子より女子は、約2倍強できるという。男子のできない者は、女子の約9倍ぐらいである。それで男子は、親まかせの生活状態である。

17. ま と め

「家庭生活の基礎技能の発達状態はどうか」調査してみたところ技能面では、発達した面と遅れている面がたよように考えられる。

発達の基準は、昭和22年の指導要領の想定され

洗たくが何年でできるようになったかは、図37、図38表であるが、男子は4～5年、女子は2年、4年、5年と低年齢ほど早期に実行できるのは、時代の波が、子どもの経験回数と、家庭の状況の変化を女子の場合、顕著に受けやすいように感じられた。

た発達、鈴木ビネー、津守真の知能検査、SM社会生活能力検査の成就基準であるが、1回だけの調査で云々することは早計にも思うが、小刀けずり、マッチのすり方、ねじりしぼり、ひもむすび、ほ